



自然の恵みを取り入れた家づくり — 埼玉県産木材の利用でCO₂削減を—

埼玉県産木材や古材を使った家づくりでCO₂排出の抑制、カーボンニュートラルの取組を推進しています。「木遣い」「木配り」「木心」を大切に、木材建築物を残したい、それをつくる大工を育てたいという熱い想いで、人々の健康にも地球環境にもやさしい家づくりでSDGsの取組を行っています。積極的に地域のイベントにも参加し、子供たちに木の魅力を伝えています。

所在地 埼玉県朝霞市膝折町3-4-40
電話/FAX 048-461-0144 / 048-461-7281
代表者 代表取締役社長 関根 大介
<http://www.hatukari.co.jp/>

創業 1949年
資本金 1,000万円
従業員 9人



担当者より

県産木材や古材を使った家づくりでCO₂排出を抑制できます。そこで住む人々の健康にも地球環境にも優しい家づくりでSDGsに貢献していきましょう。



求む！
行政や店舗
営業を行う
事業者様

人々が集まる場所に県産木材や古材を使った建築物を造ることでCO₂の削減、カーボンニュートラルの一端に参画できますので、お問い合わせをお待ちしています

■ 埼玉県産木材を使った家づくり

石油由来の建材と比較し、木材は植林から建材になるまでの過程でCO₂の排出が少なく、カーボンニュートラルの実現に貢献できます。同じ木材でも、海外産ではなく県産を使うことで、産地からの輸送によって発生するCO₂を大きく削減することができます。



■ 古材を使った家づくり

古くなった家は壊すと廃棄物になり、燃やすとCO₂が排出されます。木材は再利用が可能で、大切に使った古材の梁丸太などは趣のある家づくりを実現します。古材を使った家づくりは木材をリユースすることでCO₂排出の抑制に有効です。

